



糖尿病網膜症について②

「糖尿病網膜症でレーザーを打ちましたと言われることがあります。糖尿病による高血糖により全身の血管は収縮傾向となり、特に微細な血管である網膜血管に虚血が起こり、広範に血流の途絶えた領域(無血管野)が出現します。造影検査で、この領域は明瞭に分かります。

この領域の網膜はそのため機能が廃絶していくのですが、頑張って新しい血管(新生血管)を作ろうとします。この新生血管は、目の中であらゆるトラブルを起こします。眼底出血、増殖膜新生による網膜剥離、血管新生緑内障など、失明を防ぐためのレーザー治療ですが、施術後にもしくはそうなる前に、もしくはそうなる前に病気の進行を食い止めることが重要です。



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

明に至る病气たちです。この出現を抑えるために、機能を失いかけた網膜をレーザーで焼くことにより、新生血管は抑えられます。ただし、

☎ **042-439-8123**
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／